

TOKYO MARATHON 2024

2024年3月3日(日)

車いすエリート出場選手発表資料

車いす招待選手(男子)
車いす招待選手(女子)
車いすエリート選手(男子)
車いすエリート選手(女子)

2024年1月30日(火) 発表

一般財団法人東京マラソン財団



東京都



東京マラソン 2024 車いすエリート 募集要項

1. 大会名称 東京マラソン 2024 (英文名: Tokyo Marathon 2024)
兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・男子GS/女子G1
兼 マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ (男子)
～パリ 2024 オリンピック競技大会 日本代表選手選考競技会～
兼 アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ XVI
2. 主 催 一般財団法人東京マラソン財団
3. 共 催 公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞
4. 主 管 公益財団法人東京陸上競技協会
5. 運営協力 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
6. 後 援 スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、東京中日スポーツ
7. 特別協賛 東京地下鉄株式会社
8. 協 賛 スターツ、イフイング株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、近畿日本ツーリスト、セイコーグループ株式会社、第一生命保険株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、全国労働者共済生活協同組合連合会、久光製薬株式会社、花王株式会社、株式会社バスクリン、TOPPAN 株式会社、大和証券グループ、日本光電工業株式会社、コーユーレンティア株式会社、株式会社 Fanplus、株式会社シミズオクト、佐川急便株式会社、TANAKA ホールディングス株式会社、株式会社フォトクリエイト
9. 日 程 2024年3月3日(日) 9:05 スタート
10. コー ス 東京マラソンコース (日本陸上競技連盟・ワールドアスレティックス /A I M S 公認コース)
東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・行幸通り
11. 参加資格 (1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者
① 大会当日(2024年3月3日)現在満19歳以上の者
② 2023年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2024年 International Paralympic Committee 登録を大会当日までに完了した者で、World Para Athletics 国際クラス T53・T54 でクラスステイタス R(2024以降)またはCを保持している者
③ World Para Athletics 公認大会で、2020年3月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者
(2) 主催者または日本パラ陸上競技連盟が推薦し招待する海外・国内の競技者
12. 対象クラス T53/T54 (World Para Athletics 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
13. 競技規則 World Para Athletics 競技規則 (大会開催日に適用される最新の World Para Athletics 競技規則) 及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手に World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程が適用される。
14. 定 員 男女計30人 (招待選手含む)
15. 参加費 16,500円
※ 参加料、事務手数料、消費税込み。

16. 参加申込 (1) 期間 2023年12月11日(月)11:00から2024年1月10日(水)17:00
(2) 方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し「車いすエリート参加希望」というタイトルで
TM_Elite@tokyo42195.orgへ電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
17. 出場者決定 2024年1月30日(火)以降、通知する。
18. 表彰 「東京マラソン2024 車いすエリート」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
19. 賞金 1位 2,000,000円、2位 1,000,000円、3位 700,000円、4位 350,000円、5位 250,000円、
6位 160,000円、7位 120,000円、8位 60,000円
世界記録 1,000,000円(男女1位のみ)
日本記録 500,000円(男女国内1位のみ)
大会記録 200,000円(男女1位のみ)
大会記録更新スプリットタイムボーナス(男女)1位 150,000円 2位 100,000円 3位 50,000円
※ 賞金対象は、World Para Athletics登録者で、国際クラス(T53・T54)を保持している者。
※ 金額はいずれも税込み。
20. 選手受付 2024年3月2日(土) 午前中(時間調整中) 京王プラザホテル(大会当日は受付を行わない。)
※ 詳細は、出場決定通知と合わせて別途案内する。
※ 選手受付は選手本人が行うこと。
21. テクニカルミーティング
2024年3月2日(土) 午後(時間調整中)
※ 詳細は、出場決定通知と合わせて別途案内する。
22. 個人情報の取り扱いについて
主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
23. ドーピング・コントロール
- (1) 本競技会は、ワールドアスレティックス(WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。
 - (2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
 - (3) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。
 - (4) 上記(3)にかかわらず本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。
 - (5) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト(<https://www.realchampion.jp>)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
 - (6) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
 - (7) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となることに留意すること。
 - (8) TUE申請について
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又はJADAのウェブサイト

(<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>)を確認すること。禁止物質・禁止方法について TUE が付与されている場合には、その証明書（コピーで可）をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

- (9) WA アンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WA または JADA のウェブサイトにて事前に確認すること。

本競技会は、ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング対象大会である。競技会（時）検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。

24. その他

- (1) 本大会はジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ・男子 GS/女子 G1 の大会として実施する。
- (2) 参加にあたっては、本大会要項並びに各種規約（「大会規約」、「競技規約」及び「エントリー規約」を確認し、同意のこと（<https://www.marathon.tokyo/participants/guideline/>）。
- (3) 日本政府が示すイベントに関する制限緩和等により、大会要項・各規約等を変更する場合がある。
- (4) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。
- (5) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。
- (6) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。

東京マラソン 2024 車いすレース 競技規則

- 1- 本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。
- 2- 全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
- 3- 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 4- 本大会では、性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。また、エンジンのついた車両あるいは自転車の後ろを走行しドラフティングすることも禁止する。
- 5- 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 6- 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準を満たしていなければならない。
- 7- 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。
- 8- 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
- 9- 競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
- 10- 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 11- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。
- 12- クラスについては、別紙の国際クラス分け表による。
- 13- 本大会では、ドーピング検査を実施する。
- 14- 関門の制限時間を次のとおり設ける。

4.9km 地点	20 分 00 秒
11.1km 地点	40 分 00 秒*
20.9km 地点	1 時間 05 分 00 秒
29.2km 地点	1 時間 35 分 00 秒
フィニッシュ地点	2 時間 10 分 00 秒

※ 車いす 10.7km レース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行はできない。

- 15- 給水所を次の通り設ける。

5 km、7 km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30 km、32km、35km、38km、40 km 地点付近
--

※ 詳細は、オフィシャルプログラムに記載する。

- 16- 車いすについては、次のとおりとする。
 - (1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
 - (2) 車いすのフレームまたはその他付属品の一部は、前輪のハブを超えて前方に伸びたり、後輪（タイヤを含む）の最後の垂直面を越えて後方に伸びてはならない。さらに、フレームの幅とその取り付け部分はプッシュリムの傾斜面よりも広くなってはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは50cm以内とする。
 - (3) 後輪、前輪の最大直径は空気を充填したタイヤを含めて、後輪70cm・前輪50cm以下とする。
 - (4) 各大輪には特殊仕様ではない円形のプッシュリムを1つずつつけることができる。
 - (5) 一般的な主旨に反する改造を禁じ、競技者のいかなる身体の一部がプッシュリムや車輪に縛り付けられてはならない。
 - (6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。
 - (7) ミラーの使用を禁止する。
 - (8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
 - (9) フェアリング等の使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
 - (10) 車いすは招集所で測定・検査され、検査された車いすは競技開始前に競技区域外に持ち出してはならない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
 - (11) 前述に限らず、競技規則を満たす車いすの準備は競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
 - (12) 車いすのフレームまたは競技者に取り付けられる装置は、規則7.4d（助力）に準拠し、競技者に不当なアドバンテージを提供する物理的または技術的な動作または行動、そして競技エリア内にて通信機能があるデバイスの使用を禁じる。GPS 機能の付いたスピードメーターは意思疎通機能がなければ持ち込んでもよい。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

- (※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。
詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
<https://para-ath.org/contents/code/committee/committee3>

東京マラソン2024 車いすエリートレース展望

車いすマラソンレースディレクター
副島 正純

今年のパラリンピックイヤーです。8月28日に開幕するパリパラリンピックを見据える選手たちはそれぞれ戦略を練り調整を進めています。東京マラソン2024はパリ開幕の約半年前に行われることもあり、弾みにしようという選手など大勢がエントリーしてくれました。

招待選手については今年もアボットワールドマラソンメジャーズ(AbbottWMM)シリーズ15の上位ランク者から声をかけ、男子は海外から4名、国内から4名の計8名、女子は海外から6名、国内から2名の計8名となりました。

男子は昨年大会で2連覇を果たした王者、マルセル・フグ(スイス)以外の、世界のトップランナーたちが顔を揃えます。ここ最近、多くの大会でフグが主導権を握り、優勝することが多かったのですが、フグ不在の東京マラソン2024は一体、誰がレースを作り、誰が最初にフィニッシュラインを駆け抜けるのか、レース展開の予想が難しい反面、面白いレースになるだろうと期待しています。

招待選手の中で注目の一人は、AbbottWMMシリーズ15で2位に入った、ダニエル・ロマンチュク(アメリカ)です。フグと最後まで競り合うレースも多い実力者なので、大会記録更新にも期待がかかります。ただし、ロマンチュクが主導権を取るレースは少ない印象なので、フグのいない中、どんな戦略で東京を走るのかも興味深いところです。

日本人選手では昨年11月の大分国際車いすマラソンで好走し、準優勝した鈴木朋樹(トヨタ自動車)や4位に入った吉田竜太(SUS)に注目しています。AbbottWMMのランキングでも鈴木が4位、吉田は9位にランクされています。ここに同ランキング6位の渡辺勝(TOPPAN)を含めた3人が海外勢にどう絡み、どんな展開にもっていけるのか。面白いレースを期待します。

女子は、もしかしたら男子以上にフィニッシュラインを越えるまで勝負の行方が分からず、目が離せないレースになるのではないかと予想しています。女子は昨年、ベルリンで世界新記録が生まれ、大分国際でもコースレコードが塗り替えられるなど、タイムの伸びも顕著です。

招待したマニュエラ・シャー(スイス)、スザンナ・スカロニ(アメリカ)、マディソン・デロザリオ(オーストラリア)、イーデン・レインボー・クーパー(イギリス)は順にAbbottWMMシリーズ15の2位から5位にランクされています。最近はいづれも集団を作ってレースを進め、フィニッシュ前のスプリント勝負で順位が入れ替わるような実力拮抗の選手たちです。

ここに、日本勢のAbbottWMM6位、喜納翼(琉球スポーツサポート)や同7位の土田和歌子(ウィルレイズ)がどんな戦略で食らいつき、上位に食い込んでいくかにも注目してください。

■記録狙いの高速レースにも期待

東京マラソン2024はパリパラリンピック出場に向けても重要なレースであると言えます。国際パラリンピック委員会が発表している車いすマラソン種目の出場要件によれば、期間(2022年10月1日~2024年6月16日)内に参加標準タイム(男子1時間29分30秒、女子1時間43分53秒)を切り、パリパラリンピックランキングに入ることが第一歩です。

さらに、日本パラ陸上競技連盟ではこのランキングをもとにした国内の選考人数について、「マラソン種目にもみ出場する選手は男女それぞれ最大3名まで」と方針を発表しています。最終の派遣人数は他種目との調整になるので、とにかく上記の期間内にできるだけ高タイムを出し、ランキング上位に入っておくことが重要でしょう。

記録を伸ばすために残された期間は今後3カ月余り。その間に開催される公認レースも少ない中で、高速コースと言われる東京マラソン2024は大きなチャンスレースのはず。タイムしだいでランキングの変動も大いに考えられます。

東京マラソン2020では鈴木が1時間21分52秒、喜納が1時間40分00秒と、男女それぞれのコースレコードを塗り替えました。その後、コロナ禍を経た2023大会で、男子のコースレコードはフグにより1時間20分57秒へ、女子はシャーによって1時間36分43秒へと更新されています。今年はどうなるレースになるのでしょうか。当日の天候などにもよりますが、ぜひ、果敢にチャレンジしてもらえたらと思っています。

コースレコード更新の後押しになればと、今年も10km地点に「2つの仕掛け」を設定しました。ひとつは「AbbottWMMボーナスポイント」で、この10km地点を男女各1位で通過した選手は8ボーナスポイントを獲得できます。

東京マラソン2024はAbbottWMMシリーズ16の初戦でもあり、今季を占う重要なレースです。ボーナスポイントはレース結果ポイントにも加算されますから、今季のシリーズ戦を有利に進める一歩になるし、今後のレース計画を調整していく上でも大きな意味を持つことでしょう。レース序盤からの積極的な走りに期待します。

コースレコード更新のもうひとつの仕掛けである、「東京マラソン独自のスプリントタイムボーナス」も、同じ10km地点に設定しました。こちらは男女それぞれの世界記録をベースにして設定した10kmの目標タイムを上回った選手を対象に男女各3位までに賞金を授与します。1位は15万円、2位は10万円、3位は5万円です。

目標タイムですが、男子は18分09秒、女子は21分48秒です。設定タイムは世界記録相当なので高い目標ですが、東京のコースは序盤5kmまでは下り基調ですから積極的に攻めて、「AbbottWMMボーナスポイント」とともに狙ってほしいと思っています。

■観戦時の見どころポイントは？

車いすレースは高速で展開するため、沿道で観戦していると、あっという間に通りすぎてしまうかもしれませんが、おすすめの見どころポイントがいくつかありますので、ご参考ください。

まずはスタートです。号砲からの一瞬の加速で、誰が前に出てレースの主導権を握るのかに注目してください。さらに新宿を抜けた後の長い下り坂は自然とペースが上がるので、車いすレースならではのスピード感や迫力を感じてもらえるポイントです。その後に控える 10 km地点も前述の「ボーナスポイント」設定地点なので、おそらく少し手前で集団が崩れ、激しいトップ争いが見られるのではないのでしょうか。


比較的フラットな中盤は選手によっては孤独を感じることもあるパートです。応援の声や拍手が大きな力になります。そして、やはりフィニッシュ地点の直前は一番盛り上がりたての場所です。観客の皆さんにも最後までワクワクしていただけるように、選手たちには積極的にタイムを狙って最後まで競り合うようなレースを展開してほしいと思っています


レースの楽しみ方としてはもう一つ、誰か注目する選手を決めてレース展開を想像しながらの観戦もおすすめです。例えば、男子ならロマンチュクに注目し、どこで仕掛けて一人で逃げるのか。女子はシャーとスカロニが軸になって集団が形成されることが多いので、集団からいつ誰が抜けだすだろうかなど、レース中の選手の動きを見ながら予測してみてください。

このように、パラリンピックイヤーの東京マラソン 2024 は見どころ盛りだくさんです。ぜひ、世界トップクラスの車いすマラソンをお楽しみください。

車いす招待選手(男子)
INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

プロフィール Biographies

	No.1001	国籍／アメリカ・USA	
		名前 ダニエル・ロマンチュク	
	Name ROMANCHUK, Daniel (Year of Birth : 1998年)		
資格記録	Time	大会名/Race	順位/Place
Qualified Time	1:29:05	／2020 東京パラリンピック (Paralympic Games - Tokyo)	3
自己最高記録	1:21:36*	／2019 ポストン (Boston)	1
Personal Best			
備考／Remark	2023 ニューヨークシティ (New York City) 1:30:07 2nd		

	No.1002	国籍／イギリス・GBR	
		名前 ジョンボーイ・スミス	
	Name SMITH, Johnboy (Year of Birth : 1989年)		
資格記録	Time	大会名/Race	順位/Place
Qualified Time	1:31:05	／2022 東京マラソン2021 (Tokyo**)	6
自己最高記録	1:31:05	／2022 東京マラソン2021 (Tokyo**)	6
Personal Best			
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:33:13 7th		

	No.1003	国籍／オーストラリア・AUS	
		名前 ジェーク・ラピン	
	Name LAPPIN, Jake (Year of Birth : 1992年)		
資格記録	Time	大会名/Race	順位/Place
Qualified Time	1:31:17	／2023 ベルリン (Berlin)	5
自己最高記録	1:31:17	／2023 ベルリン (Berlin)	5
Personal Best			
備考／Remark	2022 ベルリン (Berlin) 1:32:50 7th		

	No.1004	国籍／カナダ・CAN	
		名前 ジョシュア・キャシディ	
	Name CASSIDY, Joshua (Year of Birth : 1984年)		
資格記録	Time	大会名/Race	順位/Place
Qualified Time	1:33:29	／2023 シカゴ (Chicago)	5
自己最高記録	1:18:25*	／2012 ポストン (Boston)	1
Personal Best			
備考／Remark	2023 トロント (Toronto) 1:37:36 1st		

車いす招待選手(男子)

INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

プロフィール Biographies

	No. 1005	所属／埼玉・トヨタ自動車
		名前 鈴木 朋樹
	Name SUZUKI, Tomoki (Year of Birth : 1994年)	
資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 1:18:37/2021 大分国際車いす (Oita) ※日本記録(NR)	順位/Place 2
自己最高記録 Personal Best	1:18:37/2021 大分国際車いす (Oita) ※日本記録(NR)	2
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:24:31 2nd	

	No. 1006	所属／福岡・LINEヤフー
		名前 洞ノ上 浩太
	Name HOKINOUE, Kota (Year of Birth : 1974年)	
資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 1:26:48/2020 大分国際車いす (Oita)	順位/Place 6
自己最高記録 Personal Best	1:20:52/2013 ソウル国際 (Seoul)	2
備考／Remark	2023 ゴールドコースト (Gold Coast) 1:36:35 1st	


	No. 1007	所属／東京・SUS
		名前 吉田 竜太
	Name YOSHIDA, Ryota (Year of Birth : 1981年)	
資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 1:26:49/2023 大分国際車いす (Oita)	順位/Place 4
自己最高記録 Personal Best	1:23:18*/2017 ボストン (Boston)	11
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:32:58 6th	


	No. 1008	所属／福岡・TOPPAN
		名前 渡辺 勝
	Name WATANABE, Sho (Year of Birth : 1991年)	
資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race 1:28:16/2023 大分国際車いす (Oita)	順位/Place 6
自己最高記録 Personal Best	1:24:00/2019 大分国際車いす (Oita)	4
備考／Remark	2017 東京 (Tokyo) 1:28:01 1st	


*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.
**東京マラソン2021はコロナ禍において、2022年に日程を延期して開催しました。
**The "Tokyo Marathon 2021" has been postponed to the year 2022 due to the COVID-19 pandemic.

車いす招待選手(女子)
INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

プロフィール Biographies

	No.2001	国籍／イギリス・GBR
		名前 イーデン・レインボー・クーパー
	Name RAINBOW-COOPER, Eden	(Year of Birth : 2001年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:34:17 / 2023 ベルリン (Berlin)	2
自己最高記録 Personal Best	1:34:17 / 2023 ベルリン (Berlin)	2
備考／Remark	2022 ロンドン (London) 1:47:27 3rd	


	No.2002	国籍／スイス・SUI
		名前 マニュエラ・シャー
	Name SCHÄR, Manuela	(Year of Birth : 1984年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:34:17 / 2023 ベルリン (Berlin)	3
自己最高記録 Personal Best	1:28:17* / 2017 ボストン (Boston)	1
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:36:43 1th ※大会記録(CR)	

	No.2003	国籍／アメリカ・USA
		名前 スザンナ・スカロニ
	Name SCARONI, Susannah	(Year of Birth : 1991年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:34:31 / 2023 ベルリン (Berlin)	4
自己最高記録 Personal Best	1:33:17* / 2017 ボストン (Boston)	3
備考／Remark	2023 大分国際車いす (Oita) 1:35:13 3rd	

	No.2004	国籍／オーストラリア・AUS
		名前 マディソン・デロザリオ
	Name DE ROZARIO, Madison	(Year of Birth : 1993年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:38:51 / 2023 ロンドン (London)	1
自己最高記録 Personal Best	1:38:51 / 2023 ロンドン (London)	1
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:44:17 3rd	

車いす招待選手(女子)
INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

プロフィール Biographies

	No.2005	国籍／アメリカ・USA
		名前 イエナ・フェスマイヤー
	Name FESEMYER, Jenna	(Year of Birth : 1997年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:44:17 / 2023 東京 (Tokyo)	4
自己最高記録 Personal Best	1:44:17 / 2023 東京 (Tokyo)	4
備考／Remark	2023 シカゴ (Chicago) 1:49:31 7th	

	No.2006	国籍／オーストラリア・AUS
		名前 クリスティ・ドーズ
	Name DAWES, Christie	(Year of Birth : 1980年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:44:49 / 2023 大分国際車いす (Oita)	5
自己最高記録 Personal Best	1:37:14* / 2017 ボストン (Boston)	6
備考／Remark	2023 東京 (Tokyo) 1:56:39 5th	

	No.2007	所属／東京・ウィルレイズ
		名前 土田 和歌子
	Name TSUCHIDA, Wakako	(Year of Birth : 1974年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:37:59 / 2022 大分国際車いす (Oita)	1
自己最高記録 Personal Best	1:34:06* / 2011 ボストン (Boston)	1
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games - Tokyo) 1:38:32 4th	

	No.2008	所属／沖縄・琉球スポーツサポート
		名前 喜納 翼
	Name KINA, Tsubasa	(Year of Birth : 1990年)
	資格記録 Qualified Time	Time 大会名/Race
	1:38:11 / 2022 大分国際車いす (Oita)	3
自己最高記録 Personal Best	1:35:50 / 2019 大分国際車いす (Oita)	2
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games - Tokyo) 1:42:33 7th	

*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

車いすエリート選手(男子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

No.	氏名 Name	国籍・所属 Nationality・Club		生年 Year of Birth	参加資格記録(2020年3月~2024年1月) Qualified Time (Marked between March 2020 and January 2024)			自己記録 Personal Best	
1001	ダニエル・ロマンチュク	ROMANCHUK, Daniel	USA	アメリカ	1998	1:29:05	2020	東京パラリンピック(Paralympic Games - Tokyo)	1:21:36*
1002	ジョンボーイ・スミス	SMITH, Johnboy	GBR	イギリス	1989	1:31:05	2022	東京2021(Tokyo) **	1:31:05
1003	ジェーク・ラビン	LAPPIN, Jake	AUS	オーストラリア	1992	1:31:17	2023	ベルリン(Berlin)	1:31:17
1004	ジョシュア・キャシディ	CASSIDY, Joshua	CAN	カナダ	1984	1:33:29	2023	シカゴ(Chicago)	1:18:25*
1005	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	埼玉	トヨタ自動車	1994	1:18:37(NR)	2021	大分国際車いす	1:18:37(NR)
1006	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	LINEヤフー	1974	1:26:48	2020	大分国際車いす	1:20:52
1007	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	1981	1:26:49	2023	大分国際車いす	1:23:18*
1008	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	TOPPAN	1991	1:28:16	2023	大分国際車いす	1:24:00
1101	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオSOEJIMA	1970	1:29:23	2021	大分国際車いす	1:18:50
1102	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	パカラパシフィック	1984	1:31:12	2023	大分国際車いす	1:20:28*
1103	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi	大分	ホンダアスリート	1973	1:35:09	2023	大分国際車いす	1:29:35
1104	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツォカ	1978	1:35:17	2023	大分国際車いす	1:24:04
1105	松永 仁志	MATSUNAGA, Hitoshi	岡山	WORLD-AC	1972	1:36:27	2022	大分国際車いす	1:37:02
1106	大津 圭介	OTSU, Keisuke	福岡	福岡県庁	1967	1:37:27	2022	大分国際車いす	1:37:27
1107	佐藤 健	SATO, Ken	埼玉	コロンビアスポーツウェアジャパン	1983	1:37:30	2022	大分国際車いす	1:37:30
1108	廣道 純	HIROMICHI, Jun	福岡	EY Japan	1973	1:38:11	2023	グランマーズ(Grandma's, Duluth)	1:23:23
1109	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リープラス	1973	1:41:58	2023	大分国際車いす	1:22:17
1110	武村 浩生	TAKEMURA, Koki	福岡	LINEヤフー	1988	1:42:58	2023	大分国際車いす	1:28:41
1111	佐々木 凜平	SASAKI, Rinpei	東京	日本パラ陸連	1995	0:47:19	2022	大分国際車いす(ハーフ)	0:45:56
1112	仲泊 厚志	NAKADOMARI, Atsushi	沖縄	沖縄パラ陸協	2005	0:48:09	2023	大分国際車いす(ハーフ)	0:48:09
1113	遠山 勝元	TOYAMA, Katsumoto	東京	三菱商事	2006	0:51:00	2022	大分国際車いす(ハーフ)	0:51:00

*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
 *This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.
 **東京マラソン2021はコロナ禍において、2022年に日程を延期して開催しました。
 **The "Tokyo Marathon 2021" has been postponed to the year 2022 due to the COVID-19 pandemic.

車いすエリート選手(女子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

No.	氏名 Name	国籍・所属 Nationality・Club		生年 Year of Birth	参加資格記録(2020年3月~2024年1月) Qualified Time (Marked between March 2020 and January 2024)			自己記録 Personal Best	
2001	イーデン・レインボー・クーパー	RAINBOW-COOPER, Eden	GBR	イギリス	2001	1:34:17	2023	ベルリン(Berlin)	1:34:17
2002	マニエラ・シャヤ	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	1984	1:34:17	2023	ベルリン(Berlin)	1:28:17*
2003	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	1991	1:34:31	2023	ベルリン(Berlin)	1:33:17*
2004	マディソン・デロザリオ	DE ROZARIO, Madison	AUS	オーストラリア	1993	1:38:51	2023	ロンドン(London)	1:38:51
2005	イエナ・フェスマイヤー	FESEMYER, Jenna	USA	アメリカ	1997	1:44:17	2023	東京	1:44:17
2006	クリスティ・ドーズ	DAWES, Christie	AUS	オーストラリア	1980	1:44:49	2023	大分国際車いす	1:37:14*
2007	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	東京	ウイイレイズ	1974	1:37:59	2022	大分国際車いす	1:34:06*
2008	喜納 翼	KINA, Tsubasa	沖縄	琉球スポーツサポート	1990	1:38:11	2022	大分国際車いす	1:35:50(NR)
2101	瀧村 和美	TAKIMURA, Kazumi	東京	オラクル	1983	2:08:47	2023	大分国際車いす	1:46:14

*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
 *This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

車いすエリート(男子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

車いすエリート男子	21名
Total Number of Elite Athletes	
うち海外招待選手	4名
International Invited Wheelchair Athletes	
うち国内招待選手	4名
Japanese Invited Wheelchair Athletes	

車いすエリート(女子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

車いすエリート女子	9名
Total Number of Elite Athletes	
うち海外招待選手	6名
International Invited Wheelchair Athletes	
うち国内招待選手	2名
Japanese Invited Wheelchair Athletes	